

四天王寺和らぎ苑

医療的依存度の高いご利用者を、医療と福祉が力を合わせて、より健康で快適な生活が送れるよう支えるとともに、お一人おひとりの人生を大切に、楽しみ、生きるよろこび、云わばいのちの彩りを提供できる施設づくりを目指したい。何より大切なのは私たち職員が、問題点を認識して共通の目標に向かって多職種連携、和で結ばれたワンチームになってご利用者、ご家族の笑顔を目指してゆきたい。これを実現するために、以下の7つの観点から、事業計画を策定する。

～具体的な事業活動～

(1) 理念の継承

一日の始めは挨拶「おはよう」から。共に働くパートナーとしてお互いを確かめ合うこと。四天王寺福祉事業団の一員として、全ての人の幸せを願い、宣言の具現化を目指す。そして、各人が和らぎ苑の顔、代表であるという意識をもつ。

(2) チームで支える、利用者さん中心の施設

ご利用者を多職種、チームで支える。職員のみではなく、ご両親ご家族とともに和で結ばれた大きな家族として、協働してご利用者を支える。温かで高度な医療、介護で利用者さんを支え、より豊かな日常生活を提供する。多職種間での意見の交換、情報共有にこころがけ、チーム医療・療育を実践する。目標はご利用者の笑顔。

(3) 地域のための施設

悲田富田林苑とともに四天王寺富田林障害児者医療福祉センターとして、私たちの地域を支える基幹施設であることを認識しその役割を果たす。その一環として2施設協働して、理想的な将来事業の在り方を検討する会議を発足し、建替等の準備に取り組む。

(4) 安全で安心できる施設

安全管理は施設の生命線。医療安全、安全衛生、感染症対策、防災対策を各部署、悲田富田林苑とともに、活用可能な対策を構築し、マニュアルを見直し常に改善してゆく。セーフティマネジメント機能の推進強化。感染症対策、安全衛生管理の委員会活動を継続深化させる。

(5) 知識技術の向上、学術集会等への参画

職員は、各人が専門職として、知識と技術の向上を目指す。法人研究発表会への積極的参加とともに、国内外学会・研究会、研修会への参加および学術報告を推進する。

(6) 教育システムの確立

医療型心身障害児入所施設・療養介護の職員として、重症心身障害児者の現状を知り、問題点・施設の役割を各人が認識することが大切である。そのために、専門職としての知識、技能、態度・情意を育成してゆく教育システムを構築する。これとともに次世代をになう人財を育成してゆく。

(7) 経済的安定

経済的基盤の確保は、私たちの目標を達成するための礎。無駄な経費を削減するとともに、各人経営感覚を持つことが大事。以下に本年度の目標数値を挙げる。

施設入所（療養介護、医療型障害児入所施設）は定員満床を達成・維持し稼働率99.2%を。短期入所50.1%、通所事業77.0%、外来診療129.2%、訪問看護73.2%をそれぞれ目指す。

～改善活動～

(1) 重症心身障害児者の現状と、施設の役目の共通認識。

(2) 職場環境、労働負担の改善。

(3) 高度で温かな医療、介護の提供。

(4) 療養環境の改善。

(5) ボランティア活動の模索。

(6) 在宅支援事業の強化。短期入所、訪問看護リハ、通所でのチームワーク推進。

(7) 在宅支援のための中長期立案と実現に向けての検討。

(8) 防災、災害に向けて、マニュアル検証と実践訓練の実施。